

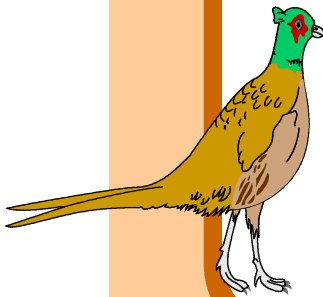
令和 2 年度

事業実績報告書



社会福祉法人 秀峯会

介護老人福祉施設きじの里
通所介護事業所きじの里
通所介護事業所清風
訪問介護事業所きじの里
グループホームきじの里
グループホーム清風
居宅介護支援事業所きじの里
五島市在宅介護支援センターきじの里
特定旅客自動車運送事業所きじの里
障害者自立支援事業所きじの里



〒853-0311

長崎県五島市岐宿町二本楠375番地

TEL0959-83-1246.1244 FAX0959-83-1247

<http://syuhoukai.jp/>

e-mail kijinosato@syuhoukai.jp

目 次

I	介護老人福祉施設きじの里の経営 -----	1
	1. 介護老人福祉施設 -----	1
	2. 短期入所生活介護 -----	2
	3. 行事実施内容 -----	3
	4. 職員研修 -----	4
	4. 1 施設外研修 -----	4
	4. 2 施設内研修 -----	4
II	通所介護事業所きじの里の経営 -----	5
	1. 基本方針 -----	5
	2. サービス内容 -----	5
	3. 事業実施内容 -----	6
	4. 日課表 -----	6
	5. 利用者状況 -----	6
	6. 行事実施内容 -----	8
III	通所介護事業所清風の経営 -----	8
	1. 基本方針 -----	8
	2. サービス内容 -----	8
	3. 事業実施内容 -----	9
	4. 日課表 -----	9
	5. 利用者状況 -----	9
	6. 行事実施内容 -----	10
IV	訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営 -----	11
	1. サービス内容（訪問介護） -----	11
	2. サービス内容（介護予防訪問介護） -----	11
	3. 利用者の状況 -----	11
	4. 利用状況の推移 -----	12
V	グループホームきじの里の経営 -----	13
	1. 利用状況 -----	13
	2. 年間行事実績 -----	14
	3. 施設内研修 -----	15
VI	グループホーム清風の経営 -----	16
	1. 利用状況 -----	16
	2. 年間行事実績 -----	17
	3. 施設内研修 -----	18
VII	居宅介護支援事業所きじの里の経営 -----	18
	1. 要介護度別利用状況 -----	18
	2. 給付管理表の提出状況 -----	19
	3. 予防給付プラン・総合支援プラン作成件数 -----	20
VIII	五島市在宅介護支援センターきじの里の経営 -----	20
	1. 事業実績累計 -----	20
	2. 実態把握件数 -----	20
IX	介護報酬の状況 -----	21
X	事故、ヒヤリ・ハット発生状況 -----	22
XI	生計困難者対策実施状況 -----	26
XII	生計困難者レスキュー事業実施状況 -----	26

I 介護老人福祉施設きじの里の経営

1. 介護老人福祉施設

令和2年度中における各月1日現在の入所者数を表1に示す。表2及び図1に、令和3年3月31日現在（今後特に表記がない場合、示された数値は全て令和3年3月31日現在のもの）の地区別入所者数を示す。

表3に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。80才以上が86%、平均入所期間は3年である。

また、入院日数は延べ164日、稼働率は98.8%であった。

表1 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月延 べ人数
		入所	退所	
令和2年 4月	49	3	2	52
令和2年 5月	50	1	1	51
令和2年 6月	50	2	3	52
令和2年 7月	49	2	1	51
令和2年 8月	50	1	1	51
令和2年 9月	50	1	1	51
令和2年 10月	50	0	0	50
令和2年 11月	50	3	3	53
令和2年 12月	50	2	2	52
令和3年 1月	50	1	1	51
令和3年 2月	50	0	0	50
令和3年 3月	50	0	0	50

表2 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
旧福江市	0	10	10
岐宿町	3	19	22
玉之浦町	2	6	8
富江町	3	2	5
三井楽町	0	4	4
奈留町	0	1	1

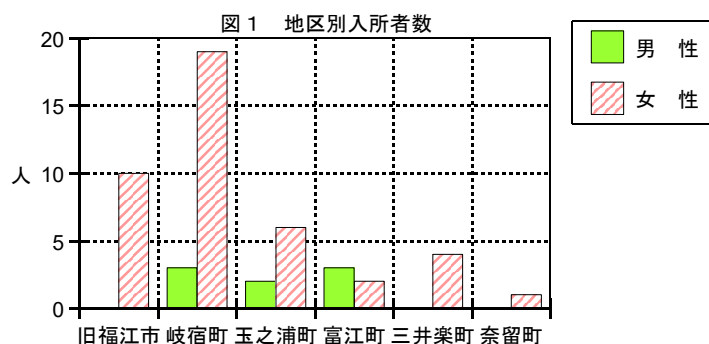


表3 入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分 (歳)	性 別	人 数	入所期間			
			6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
～64	男	0				
	女	0				
65～69	男	1				1
	女	1				1
70～79	男	0				
	女	5	1		2	2
80～	男	7	1	4	2	
	女	36	4	4	16	12
合計		50	6	8	20	16

平均年齢 男性 87.0才
女性 86.7才
平均 86.8才

平均入所期間 男性 2年 7ヶ月
女性 3年 11ヶ月
平均 3年 8ヶ月

表4及び図2に令和3年3月末の入所者の介護度を示す

要介護1： 2%
 要介護2： 0%
 要介護3： 32%
 要介護4： 36%
 要介護5： 30%
 98%

平均介護度 3.92

表4 入所者の要介護度

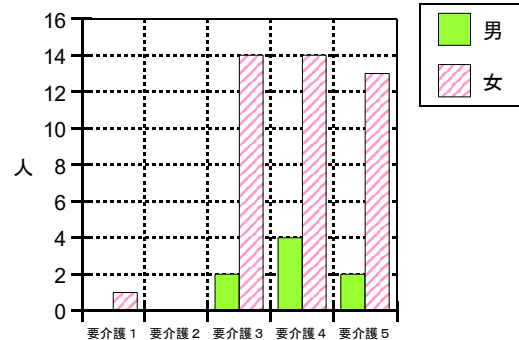
区分	男	女	計
要介護1	0	1	1
要介護2	0	0	0
要介護3	2	14	16
要介護4	4	14	18
要介護5	2	13	15
合計	8	42	50

<認知区分状況>

自立： 2名 (4%)
 (I)時々あり： 6名 (12%)
 (II)ややあり： 5名 (10%)
 (III)やや多い： 20名 (40%)
 (IV)非常に多い： 17名 (34%)
 (M)重度： 0名 (0%)
 74%

平均介護度は3.92、要介護3以上の利用者が98%を占めている。また、嚥下困難で、経管栄養を行っているご利用者様が2名入所している。

図2 要介護度分布状況



2. 短期入所生活介護

表5 短期入所月別利用者数の状況

表5に短期入所生活介護事業(ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

前年度は延べ2,188日の利用であったが、令和2年度は2,753日と565日増、稼働率は75.4%であった。1日平均7人、平均介護度3.0となっており、入所待ちの長期利用者が増えている。

	延べ日数			当該月 実利用者数	障害者自立 支援ショート延 べ日数
	介護 保険	私的 契約	合計		
4月	111	6	117	8	0
5月	156	7	163	11	0
6月	191	14	205	14	0
7月	220	9	229	14	0
8月	224	17	241	14	0
9月	240	8	248	20	0
10月	245	10	255	18	0
11月	261	9	270	17	0
12月	252	9	261	15	0
1月	250	11	261	14	0
2月	227	6	233	15	0
3月	264	6	270	13	0
合計	2641	112	2753	173	0

表6 介護度別ショートステイ利用者延べ日数

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
188	663	26	509	1,217	150	2,753

経管(鼻腔)栄養者：0名

3. 行事実施内容

表7に令和2年度中に実施した行事等を示す。ユニット毎にそうめん流し、蛍狩り、花火大会、焼き芋を行いご利用者様に季節感を味わってもらった。新型コロナウイルス感染症予防のためご家族や地域の皆様との交流ができなかったため、施設内でご利用者様と職員だけで縁日を行った。

火災の防止と万一の災害（地震、風水害）発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練をそれぞれ1回（計2回）、さらに消火器、屋内消火栓を用いた消火訓練を1回実施した。

表7 令和2年度年間行事実施表

月	行事計画	日	実 施	月	行事計画	日	実 施
4	花見 誕生会	4	バスハイク	11	誕生会	9	誕生会
		8	桜見物				
		23	誕生会				
5	入所者健康診断 母の日		入所者健康診断 (血液検査)	12	大掃除 クリスマス 忘年会	8	誕生会
		10	母の日茶話会			25	クリスマス会
		18	誕生会				餅つき 門松作り
6	父の日	12	父の日茶話会	1	新年祝賀会 鏡開き 誕生会	28	書き初め 誕生会
		21	誕生会				
7	誕生会	7	七夕祭り	2	節分・豆まき 誕生会	3	節分・豆まき
		16	誕生会			5	選挙
		26	流しそうめん			9	バスハイク
8	誕生会	1	縁日	3	ひな祭り 誕生会	2	ひな祭り
		24	選挙			13	誕生会
		30	誕生会			23	入所者健康診断
9	誕生会 敬老祝賀会	12	敬老会	10	誕生会	24	避難訓練 (夜間想定)
		21	バスハイク				
10	誕生会	26	誕生会				
		29	避難訓練(昼間想定) ワックスかけ				

4. 職員研修

4. 1 施設外研修

令和2年度中における施設外研修の実施状況を表8に示す。新型コロナウイルス感染症予防のため島外での研修参加が減り、施設内でのWEB研修が行われた。

表8 職員の研修実施状況（施設外）

部署・人数	職種	実施日	場所	内容
特養1名	介護職	4月3日	福岡県	外国人技能実習関連講習生活指導員講習
特養3名	介護職	7月8日	WEB研修	「メンター制度」に関するセミナー
特養1名	看護職	7月17日	長崎市	食中毒（感染症）予防研修会
特養1名	看護職	7月21日	長崎市	座位でも！誰でも！できる運動機能アッププログラム
特養5名	介護職	11月10日	WEB研修	人材育成～リーダーの心構え・コーチング～
特養1名	相談員	11月10日	WEB研修	〃
特養1名	看護職	11月10日	WEB研修	〃
デイ1名	相談員	11月10日	WEB研修	〃
GHきじ1名	介護職	11月10日	WEB研修	〃
特養1名	ケアマネ	12月15日	長崎市	主任介護支援専門員研修
特養9名	介護職	12月26日	WEB研修	事例を基にケアプラン、個別援助計画を知る
特養2名	介護職	1月12日	WEB研修	ユニットの三要素って何？
特養2名	介護職	1月19日	WEB研修	居室の設えを考える。ヒント
特養2名	介護職	1月26日	WEB研修	肝はユニット会議にあり
特養1名	施設長	2月3日	長崎市	技能実習指任者講習
デイ1名	介護職	2月4日～2月5日	長崎市	技能実習指導員・生活指導員講習会
特養2名	介護職	2月16日	WEB研修	五島中央病院オンラインカンファレンス「認知症研修会」
特養4名	看護職	2月16日	WEB研修	〃
特養1名	相談員	2月16日	WEB研修	〃
デイ1名	看護職	2月16日	WEB研修	〃
居宅1名	ケアマネ	2月16日	WEB研修	〃
特養1名	介護職	2月18日	WEB研修	私の視点（日勤と夜勤）
特養1名	介護職	2月25日	WEB研修	大したことはないけどユニットの小工夫
特養1名	相談員	2月26日	WEB研修	業務改善セミナー
特養1名	介護職	2月26日	WEB研修	〃
特養2名	介護職	2月26日	WEB研修	クラスターに見舞われたある施設の事例
居宅1名	ケアマネ	3月3日～3月6日	長崎市	主任介護支援専門員研修
特養2名	介護職	3月9日	WEB研修	ユニット費って？どう使う！
特養1名	介護職	3月23日	WEB研修	ユニットリーダーのつぶやきが現場を変える
特養2名	介護職	3月25日	WEB研修	認知症施策の最新動向
特養2名	介護職	3月30日	WEB研修	コロナ渦での地域との関わりの変容について

4. 2 施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表9に示す。

表9 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
7月17日・7月15日 ＜到達度勉強会＞	＜身体レベルに合わせた排泄介助方法について＞ ・基本を守りながら身体レベルに合わせた排泄介助を学ぶ (モデルを使つての実技指導)	計33名

7月27日 ＜感染症、食中毒予防研修＞	＜感染症、食中毒予防について＞ ・施設内で起こりやすい感染症とその対策 ・食中毒予防と手洗いの実技指導	計28名
8月5日 ＜リスク勉強会＞	＜救急対応法について＞ ・気道内異物の病態と救急処置について ・ハイムリック法、背部叩打法の実技指導	計28名
8月26日 ＜看取り研修＞	＜看取りケアについて＞ ・エンゼルケアのプロセス、心がけと支援について学ぶ	計32名
10月20日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション（特養、看護、デイ）ごとに課題を決めそれについて研究し その成果を発表する。	計34名
11月28日 ＜接遇勉強会＞	＜接遇勉強会＞ 介護職に求められるコミュニケーション能力について学ぶ	計20名
12月9日・12月17日 ＜到達度勉強会＞	＜移乗・移動について＞ ・ボディメカニックスの復習（実技指導） ・スライディングボードの使い方（実技指導）	計31名
12月16日 ＜リスク勉強会＞	＜介護職としてのリスクマネジメント＞ ・介護職のリスクについて学ぶ	計21名
12月21日 ＜感染症研修＞	＜感染症予防について＞ ・感染症の予防、まん延防止について（嘔吐物処理実技） ・新型コロナ感染症について（症状、重症化リスク、感染経路）	計26名
1月12日、118日 ＜身体拘束、虐待防止研修＞	＜身体拘束廃止、虐待防止について＞ ・身体拘束の3原則、緊急やむを得ない場合の対応 ・虐待の基本的理解、不適切ケアについて学ぶ	計35名
3月23日・27日 ＜到達度勉強会＞	＜入浴介助について＞ ・入浴介助の基本（目的、手順、注意点など）を学ぶ	計31名
3月31日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション毎が課題について研究しその成果を発表する	計22名

Ⅱ 通所介護事業所きじの里の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持、向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

①利用日は日曜日・年始3日を除き、毎日実施

①利用定員は1日18名

（おおむね要介護認定者7名、通所A5型 8名、通所A7型 3名）

③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型は800円/回

④パワーリハビリテーション

パワーリハビリ器具を使用して機能訓練実施、サーキット訓練、ボール運動を実施。

⑤レクリエーション活動

輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴゲーム、バスハイク

⑥クラブ活動

手工芸、ちぎり絵、カラオケ、ハンドベル

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを計算した献立に基づく温かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 5) その他日常生活に必要なサービス

4. 日課表

8:00	9:00					12:00	13:30						15:30	16:30		
専用車にて迎え	健康チェック	機能訓練・脳トレ	入浴	マッサージ機器	嚥下体操	昼食	休憩	創作活動	機能訓練	クラブ活動	サーキット訓練	ボール体操	レクリエーション	おやつ	休憩	専用車にて送り

5. 利用者状況

表10、11に令和元年度、令和2年度要介護度別通所介護利用者数を示す。

利用延べ人数では、前年度より531名の減少、1日当たりの平均利用者数は14.9人に減少した。コロナ感染症予防の為、家族等島外や県外から来島した場合には1~2週間休んでいただく等、感染予防を徹底した為、減少はやむを得なかった。

3月からは、要介護認定者の利用者が増え、前年並みに増えてきている。

新年度も感染対策を第一に考え、施設内での発生を予防しながら営業していく。

表10 令和元年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	46	43	40	45	34	39	45	40	37	33	30	33	465
総合事業1	146	133	145	158	118	128	135	128	112	100	111	110	1,524
総合事業2	117	91	100	109	92	98	91	110	109	113	114	106	1,250
要介護1	111	116	123	126	112	93	137	142	118	108	113	145	1,444
2	0	0	5	6	9	10	11	7	0	0	0	0	48
3	25	26	16	12	11	11	14	11	0	0	0	0	126
4	17	24	21	23	21	23	23	12	17	27	29	32	269
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	462	433	450	479	397	402	456	450	393	381	397	426	5,126
営業日	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309

1日平均利用者数 16.6人

表 1 1 令和 2 年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	29	25	26	21	21	27	25	24	21	17	18	22	276
総合事業 1	112	110	119	108	96	93	99	102	87	57	80	100	1,163
総合事業 2	109	99	107	116	104	115	129	132	130	103	118	134	1,396
要介護 1	132	146	116	98	83	76	88	74	77	60	70	85	1,105
2	7	17	39	48	37	33	40	36	38	33	34	32	394
3	0	0	0	0	0	4	13	10	9	15	9	12	72
4	17	8	13	16	18	16	25	13	4	8	12	39	189
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	406	405	420	407	359	364	419	391	366	293	341	424	4,595
営業日	26	26	26	27	26	25	27	25	27	22	24	27	308

1日平均利用者数 14.9人

通所介護利用者延べ人数推移

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年	R2年度
5,226	4,429	4,465	4,747	5,126	4,595

(H28年度から制度改正のため減)

表 1 2 地区別通所介護利用登録者数

(通所介護・総合事業利用数含む)

居住地・性別	男	女	合計
岐 宿	1	3	4
河 務	0	1	1
川 原	0	8	8
楠 原	0	2	2
松 山	0	4	4
志 田 尾	1	1	2
寺 脇	0	3	3
坂 の 上	0	1	1
城	2	7	9
南 部	1	0	1
柿ノ木場	1	1	2
二 本 楠	3	12	15
荒 川	2	3	5
幾 久 山	3	1	4
福 江	0	0	0
大 曲	0	0	0
合 計	14	47	61

	最高	最低	平均
男	94	70	84.8
女	95	76	89.4
全体平均			87.1歳

6. 行事实施内容

表 1 3 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	バスハイク 誕生会 折り紙	花見（繁敷・漁津ヶ崎） （4/2～4/6）	10月	バスハイク ハンドベル 誕生会	ハンドベル 誕生会
5月	折り紙 誕生会 バスハイク	花作り（チューリップ） ハンドベル	11月	文化祭 折り紙 誕生会	花作り 誕生会
6月	運動会 バスハイク 誕生会	紫陽花花見（6/8～6/10） ハンドベル 景品付きボート大会	12月	忘年会・誕生会 足湯	誕生忘年会・ゲーム大会 （21日～26日）
7月	誕生会 折り紙	誕生会 ハンドベル	1月	新年会 福笑い 誕生会	福笑い（4～10日） 誕生会
8月	納涼祭 バスハイク 誕生会	誕生会	2月	節 分 誕生会	豆まき 誕生会
9月	誕生会 避難訓練	誕生会 作品作り 避難訓練（29日）	3月	雛 祭 り 避難訓練 誕生会・花見	桜・花の花見（3/23～27） 避難訓練（24日） 誕生会

・誕生会を毎月に変更し、誕生日当日か利用日にみんなで祝いし、喜寿・米寿の祝いを実施した。また年2回のゲーム大会を実施した。感染予防の為、外出する機会や施設の行事がなくなった為、施設内のレクリエーションを毎週変更して、利用者に楽しんで頂いた。

Ⅲ 通所介護事業所 清風の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持・向上に資するよう事業を実施した。

介護予防対象者については、日常生活において自立した生活が維持できるよう、レクリエーション活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、運動器による機能向上を機能訓練指導員の指導の下実施し、体力の維持向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

- ①利用日は土、日、年始3日を除き、毎日実施
- ②利用定員は10名（おおむね要介護認定者4名、通所A6型 4名、通所A7型2名）
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型 800円/回
- ④機能訓練
筋力増強運動及び平行棒、プーリー等の各種器具を使用しての機能訓練を実施
- ⑤レクリエーション活動
卓球、お手玉ボーリング、室内ペタンク、脳トレ（頭の体操）など
- ⑥クラブ活動
手工芸、カラオケ、折り紙、編み物など

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを考慮した温かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 8) その他日常生活に必要なサービス

4. 日課表

8:00	9:00	12:00	13:30	15:00	15:40			
専用車にて迎え	健康チェック 機能訓練 入浴	入浴	マツサ マツサ マツサ	嚙下 嚙下 嚙下	昼休憩 食憩	マツサ 機能訓練 ボクブル運動 クラブ活動 レクリエーション	おやつ 休憩	専用車にて送り

5. 利用者状況

表14、15に令和元年度、令和2年度の要介護度別通所介護利用者数を示す。元年度と比較して215名の減少になっている。コロナ感染症予防の為に利用を制限したり、ご利用者様の施設入所の為、利用者数の減少になっている。令和3年1月からは包括、居宅事業所の新規紹介も増えているのでサービス内容、接遇面の改善を図りながら新規利用者の獲得と地域の皆さんに信頼されるデイサービス清風になれるように業務に取り組んでいく。

表14 令和元年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	48	56	46	52	44	49	57	39	37	36	36	37	537
総合事業1	19	25	17	26	21	21	17	16	19	16	23	32	252
総合事業2	25	22	20	20	18	20	24	20	18	20	19	22	248
要介護1	60	67	63	59	54	55	64	65	65	59	39	43	693
2	19	20	15	16	16	10	5	4	4	4	28	37	178
3	16	15	14	16	18	16	17	14	22	15	15	9	187
4	0	0	0	22	20	21	20	20	19	20	23	26	191
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	187	205	175	211	191	192	204	178	184	170	183	206	2,286
営業日	22	23	20	23	22	21	23	21	22	20	20	22	259

1日平均利用者数 8.8人

表 1 5 令和 2 年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	38	40	42	47	40	43	37	34	38	33	34	42	468
総合事業 1	28	24	33	32	32	26	25	22	19	15	22	24	302
総合事業 2	18	17	18	22	16	17	23	20	17	16	20	21	225
要介護 1	38	38	40	41	39	35	60	59	61	53	56	80	600
2	33	29	39	45	35	31	29	24	28	21	19	22	355
3	6	9	9	9	7	9	12	7	5	4	4	5	86
4	21	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	182	163	189	196	169	161	186	166	168	142	155	194	2,071
営業日	21	21	22	23	21	22	22	21	23	20	20	23	259

1日平均利用者数 7.9人

表 1 6 地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
大荒町	1	3	4
坂の上		1	1
上大津町		2	2
下大津町		1	1
木場町	1	4	5
籠淵町		1	1
奥浦町	1	1	2
紺屋町		1	1
松山町		1	1
東浜町		1	1
池田町		1	1
武家屋敷		4	4
江川町		1	1
幸町		3	3
吉久木町		1	1
吉田町		1	1
福江町		1	1
合計	3	28	31

	最高	最低	平均
男	95	64	82
女	97	73	85
全体平均	85歳		

今後もコロナ感染症予防の為に、利用者様に手洗い、うがい、消毒、情報等の周知徹底を図りながら、利用者様に安心して利用して頂くように業務に取り組んでいく。

6. 行事实施内容

表 1 7 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	花見 菜の花見学 買い物ツアー	花見（中止） 菜の花 買い物（エレナ）	10月	コスモ見学 文化祭作品作り 買い物ツアー	コスモ見学（21日） 買い物（エレナ）

5月	バスハイク 手工芸 かたか	(奥浦) 貼り絵 かたか	11月	バスハイク 手工芸 買い物ツアー	岐宿、三井楽 折り紙 バリュー
6月	紫陽花見学 七夕飾り作り 手工芸 誕生会	紫陽花見学 (3、4日) 七夕飾り作り お手玉作り 誕生会 (22日～26日)	12月	誕生会 買い物ツアー クリスマス会	誕生会 (21日～25日) 買い物 (シティ) クリスマス (24日)
7月	七夕祭り バスハイク	七夕祭り (7日) 魚津ヶ崎公園	1月	新年会 手工芸 買い物ツアー	初詣 (5日) 折り紙 買い物 (シティ)
8月	納涼祭 手工芸 買い物ツアー	折り紙 買い物 (コスモス) かき氷	2月	節分 手工芸 バスハイク	節分 (2日、3日) 貼り絵、塗り絵 奥浦 (河津桜見学)
9月	誕生会 避難訓練 手工芸 バスハイク	誕生会 (21日～25日) 消防・避難訓練 貼り絵 鬼岳	3月	雑祭り 誕生会 避難訓練 バスハイク 買い物ツアー	誕生会 (22日～26日) 避難訓練 (23日) 鬼岳、鎧瀬 買い物 (エレナ)

IV 訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営

1. サービス内容 (訪問介護)

- ①利用日は、日曜日以外の毎日
- ②サービス提供時間帯は (平常の時間帯) 午前9時～午後5時
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担
- ④サービスの概要
 - (1) 身体介護・・・入浴介助、排泄介助、食事介助、体位交換、通院介助等
 - (2) 生活援助・・・調理、洗濯、掃除、買い物等
 - (3) 通院等乗降介助・・・通院時に事業所のヘルパーが病院まで同行、車への乗り降りや屋内外における移動の介助、受診の手続きなどを行う。

2. サービス内容 (介護予防訪問介護)

- ①利用日は、日曜日以外
- ②サービスの概要
自立支援の観点から、利用者が出来る限り自ら家事等を行うことができるように支援することを目的としてして援助する。(調理・洗濯・掃除・買い物・薬の受け取り代行)
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担

3. 利用者の状況

表18 利用者介護度状況 (令和2年度利用者)

介護度	総合事業	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人員	17	11	2	1	1	0	32

表 19 月別利用者数 (令和 2 年度)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	8	9	9	8	6	6	6	7	6	6	6	5	82
総合事業	17	15	15	15	15	16	17	17	16	16	16	14	189
合計	25	24	24	23	21	22	23	24	22	22	22	19	271

* 1年度1月あたり平均人数23人
 → 2年度1月あたり平均人数22人

4. 利用状況の推移

①サービス種類別ヘルパー稼働時間(単位 ○時間:○分)

表 20 訪問介護の月別稼働時間の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
身生	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00	3:00	0:00	1:00	0:00	1:00	0:00	0:00	6:00
生活	43:00	53:00	47:45	47:30	34:45	37:00	34:00	26:00	34:00	36:30	30:00	25:15	448:45
通院	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
計	43:00	53:00	47:45	47:30	35:45	40:00	34:00	27:00	34:00	37:30	30:00	25:15	454:45

表 21 介護予防訪問介護・総合事業訪問介護の月別稼働時間推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問Ⅰ	39:00	44:00	43:10	38:00	30:00	33:00	40:00	35:00	39:00	39:00	38:00	31:00	449:10
訪問Ⅱ	22:00	17:00	17:00	27:00	34:00	32:00	36:00	24:00	26:00	21:00	20:00	22:00	298:00
訪問A3	12:45	9:00	10:30	9:45	9:00	10:30	9:45	9:00	11:15	9:00	9:00	10:30	120:00
計	73:45	70:00	70:40	74:45	73:00	75:30	85:45	68:00	76:15	69:00	67:00	63:30	867:10

* 1年度: 1月あたり平均稼働時間114時間 1日あたり平均稼働時間: 4.3時間
 → 2年度: 1月あたり平均稼働時間110時間 1日あたり平均稼働時間: 4.2時間

表 22 ヘルパー月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身生	0	0	0	0	1	3	0	1	0	1	0	0	6
生活	43	53	48	48	35	37	34	26	34	37	31	26	452
通院乗降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	78	73	74	78	76	79	89	71	80	72	70	67	907
計	121	126	122	126	112	119	123	98	114	110	101	93	1365

* 1年度1月あたり平均利用回数 116回 1日あたり平均利用回数: 4.4回
 → 2年度1月あたり平均利用回数 113回 1日あたり平均利用回数: 4.3回

表 23 特定旅客自動車運送事業月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護													0
総合事業 護	2	0	6	2	2	0	2	2	2	0	2	2	22

* 1年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 22回、1月あたり平均 1.8回
 → 2年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 22回、1月あたり平均 1.8回

表 2 4 介護保険外ヘルパー自費利用月間延べ回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費2時間													0
院内介助30分													0

(職員配置2.5以上で時間内であれば援助可能：1時間2000円)

令和2年度は要介護度のご利用者様が増え、総合事業のご利用者様が減っている。
 特定旅客自動車運送事業についても、病院までの送迎希望者等、顧客ニーズに合ったサービス
 ができるよう新規利用者の獲得が必要である。

V グループホームきじの里の経営

表 2 5 月別入退所者数の状況

1. 利用状況

令和2年度中における各月1日現在の入所者数を表25に示す。

表26に、令和3年3月31日現在の地区別入所者数を示す。岐宿町5名、旧福江市2名、三井楽町1名、大阪市1名、玉之浦町、奈留町、富江町からの利用が無い。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。

稼働率は、99.4%、

平均介護度は2.6

平均年齢は91.1歳であった。

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
令和2年 4月	9	0	0	9
令和2年 5月	9	0	0	9
令和2年 6月	9	0	0	9
令和2年 7月	9	0	0	9
令和2年 8月	9	2	2	11
令和2年 9月	9	0	0	9
令和2年 10月	9	0	0	9
令和2年 11月	9	0	0	9
令和2年 12月	9	0	0	9
令和3年 1月	9	0	0	9
令和3年 2月	9	0	0	9
令和3年 3月	9	1	1	10

表 2 6 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所
旧福江市	1	1	2
岐宿町	1	4	5
玉之浦町	0	0	0
三井楽町	1	0	1
大阪市	0	1	1
合計	3	6	9

表 2 7 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	1	2	3
要介護2	0	3	3
要介護3	1	1	2
要介護4	1	0	1
要介護5	0	0	0
合計	3	6	9

表27に、令和3年3月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表28、表29に令和元年度、令和2年度介護度別の延べ人数を示す。延べ利用人数では元年度と比較すると13人の増となった。ご利用者様の健康管理に努め、病気の早期発見、早期治療を心がけ医療機関との連携を強化し、疾病の悪化や進行を防ぐことができた。

表 28 令和元年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	120	124	120	124	124	112	124	90	93	93	87	93	1304
要介護 2	30	31	30	31	40	60	62	70	93	92	87	79	705
要介護 3	60	62	60	62	62	60	62	69	62	60	58	62	739
要介護 4	60	62	60	62	49	30	31	30	31	31	29	31	506
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	270	279	270	279	275	262	279	259	279	276	261	265	3,254

表 29 令和 2 年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	90	62	60	31	27	60	62	60	62	62	56	77	709
要介護 2	83	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1088
要介護 3	60	62	60	93	108	90	93	90	93	93	84	74	1000
要介護 4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護 5	0	31	30	31	13	0	0	0	0	0	0	0	105
計	263	279	270	279	272	270	279	270	279	279	252	275	3,267

2. 年間行事実績

表 30 に令和 2 年度中に実施した行事等を示す。住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう常にご利用者の心身の状況を把握して、心穏やかに安心して過ごせるようサービスの提供に務めた。

積極的に社会参加ができるよう、外出などの機会を多く持ち個別のニーズを把握して支援を行った。また、残存機能を活かした生活リハビリを継続し、ご利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう個別ケアに努めた。

年 2 回の防火訓練を実施し、3 月の訓練では夜勤者を主体とした夜間避難訓練を行い職員の防災意識の向上を図った。

表 30 令和 2 年度行事実施状況

月	行事計画	日	実施	月	行事計画	日	実施
4月	花見：バスハイク	3	花見、ツワ引き	10月	避難訓練	7	散髪、ホットケーキ作り
	誕生会	4	ドライブ		コスモス見物	30	誕生会
	夏野菜苗植え	7	出張散髪		冬野菜苗植え	31	ドライブ（鬼岳）
		11	誕生会	誕生会			
5月	母の日	10	母の日昼食会	11月	運営推進会議	7	花苗植え
	運営推進会議 あじさい見学	23	運営推進会議		バスハイク	15 25	買い物ツアー ふるさと巡り
6月	父の日	1	買い物ツアー（福江	12月	クリスマス昼食会	9	運営推進会議
	芋の苗植え	5	出張散髪		誕生会	9	誕生会（白寿祝い）
	バスハイク	8	花苗植え		そば作り	24	クリスマス会
		21	父の日昼食会			30	そば作り、すす払い
		27	バスハイク				
7月	七夕昼食会	7	七夕昼食会	1月	新年祝賀会	1	新年会
	出張散髪	20	運営推進会議		初詣	2	初詣
	運営推進会議	21	野菜の収穫		七草がゆ	7	七草
		30	インターンシップ		運営推進会議	11 27	ぜんざい会 運営推進会議

8月	縁日	1	きじの里縁日	2月	節分	3	節分豆まき
	墓参り	2	どら焼き作り		おやつ作り	14	バレンタインデー-お茶会
	おやつ作り	4	出張散髪		誕生会	15	出張散髪
9月	敬老会	21	敬老会	3月	雛祭り	3	雛祭り昼食会
	おやつ作り	23	ぼた餅作り		運営推進会議	15	誕生会（白寿祝い）
	運営推進会議	26	運営推進会議		誕生会	25	運営推進会議
						24	避難訓練（夜間想定）

* 回診は2週間に1回。訪問看護は毎週水曜日。個別のニーズを把握しその都度、自宅への外泊・外出、美容院への外出、買い物など、自立した生活が送れるよう支援した。

3. 施設内研修

知識と技術向上のための内部研修を実施した。職員のレベルアップに取り組みご利用者の変化に迅速に対応できるよう、介護のプロとしてケアサービスの質の向上や、自己啓発に取り組んだ。

表3-1 令和2年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
4月10日 〈倫理と法令遵守〉	・倫理と法令遵守に関する研修	計7名
5月11日 〈感染症勉強会〉	・感染症（コロナウィルス対策）に関する研修	計7名
6月10日 〈接遇について〉	・接遇とマナーに関する研修	計7名
7月10日 〈認知症ケアについて〉	・認知症と認知症ケアに関する研修	計6名
8月9日 〈身体拘束について〉	・身体拘束廃止、高齢者虐待防止に関する研修	計7名
9月11日 〈服薬について〉	・服薬支援、誤薬防止に関する研修	計7名
10月29日 〈避難訓練〉	・火災等災害対応に関する研修（避難訓練・昼間想定）	計7名
11月9日 〈リスク対策について〉	・事故発生予防、再発防止に関する研修	計7名
12月10日 〈身体拘束について〉	・虐待防止とプライバシー保護、身体拘束廃止に関する研修	計7名
1月10日 〈介護保険について〉	・介護保険制度について	計7名
2月10日 〈緊急時対応について〉	・緊急時の対応に関する研修	計7名
3月24日 〈避難訓練〉	・災害時の避難、救出等に関する訓練（夜間想定）	計7名

VI グループホーム清風の経営

表3-2 月別入退所者数の状況

1. 利用状況 令和2年度中における各月1日現在	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	

の入所者数を表32に示す。

表33に、令和3年3月31日現在の地区別の利用状況を示す。旧福江地区在住の利用者が8名。岐宿地区が1名。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。表34に要介護度別入所者数を示す。平均介護度は3.6。平均年齢は86.6歳。稼働率98.5%であった。

令和 2年4月	9	0	0	9
令和 2年5月	9	0	0	9
令和 2年6月	9	0	0	9
令和 2年7月	9	0	0	9
令和 2年8月	9	0	0	9
令和 2年9月	9	0	0	9
令和 2年10月	9	0	0	9
令和 2年11月	9	0	0	9
令和 2年12月	9	0	0	9
令和 3年1月	9	0	0	9
令和 3年2月	9	0	0	9
令和 3年3月	9	0	0	9

表33 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
旧福江市	1	7	8
岐宿町	0	1	1
三井楽町	0	0	0
玉之浦町	0	0	0
合計	1	8	9

表34 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	1
要介護3	1	1	2
要介護4	0	6	6
要介護5	0	0	0
合計	1	8	9

表34に、令和3年3月末におけるグループホーム清風利用者の介護度を示す。

表35、表36に令和元年度、令和2年度の介護度別延べ人数を示す。延べ人数では、元年度と比較すると退所と入院件数が減少したため、24人の増となった。主治医や訪問看護ステーションとの連携により、利用者様の体調管理や、急変時の適切な対応に努めた。今後も疾病の早期発見、悪化予防等、医療機関との連携を図り利用者様の健康の維持に努めたい。待機者の確保については、随時に各関係機関、居宅介護支援事業所等へ情報提供したり、見学や電話問い合わせ等の対応を行い待機者の増加に繋がった。

表35 令和元年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	66	93	90	93	62	60	31	30	31	18	16	31	621
要介護2	30	31	30	31	31	30	62	60	62	31	29	31	458
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	186	521
要介護4	120	124	120	124	155	150	155	150	155	186	174	0	1613
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0
計	246	279	270	279	279	270	279	270	279	266	248	248	3213

表36 令和2年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	62	60	62	30	31	31	28	31	457
要介護3	60	62	60	62	62	60	46	60	62	62	56	62	714

要介護4	150	186	180	186	155	150	153	180	186	186	168	186	2066
要介護5	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
計	270	279	270	279	279	270	261	270	279	279	252	279	3237

2. 年間行事実績

表37に令和2年度中に実施した行事等を示す。ご利用者のニーズの把握に努め落ち着いて過ごせる環境作りを最優先とし、精神状態の安定を図った。また自立した日常生活が送れるよう、それぞれのペースにあわせ残存機能を活かした家事作業や活動に取り組んだ。今後も家庭的な雰囲気の中で、心穏やかに楽しく暮らせる環境作りを目指す。

表37 令和2年度行事実施状況

月	行事計画	実施	月	行事計画	実施
4月	つわむき 春野菜の収穫	つわの皮むき(4/15) ジャガイモの収穫(4/29)	10月	衣替え 誕生日会	衣替え(10/3) 誕生日昼食会(10/8)
5月	母の日 運営推進会議 おやつ作り	母の日昼食会(5/10) 運営推進会議(5/23) ホットケーキ作り(5/30)	11月	誕生日会 外部評価 運営推進会議	誕生日昼食会(11/1) 外部評価(11/25) 運営推進会議(11/26)
6月	父の日 野菜の植付け	父の日昼食会(6/21) 芋苗植え付け(6/25)	12月	冬至 クリスマス すす払い	ゆず湯(12/21) クリスマス昼食会(12/24) 大掃除：すす払い(12/30)
7月	七夕昼食会 実地指導	七夕昼食会(7/7) 実地指導(7/29)	1月	お年賀：誕生日会 ぜんざい会 運営推進会議	お年賀昼食会(1/1) ぜんざい会(1/10) 運営推進会議(1/24)
8月	誕生日会 おやつ作り 運営推進会議	誕生日昼食会(8/5) かき氷作り(8/15) 運営推進会議(8/24)	2月	節分 誕生日会 おやつ作り	豆まき(2/3) 誕生日会(2/14) もちおかき作り(2/16)
9月	敬老会 運営推進会議 避難訓練	敬老会(9/22) 運営推進会議(9/24) 夜間想定(9/25)	3月	雛祭り：誕生日会 避難訓練	雛祭り昼食会：誕生日会 難訓練：夜間想定(3/18) 運営推進会議(3/24)

* 往診は月に1回。訪問看護は毎週月曜日。個別のニーズに合わせ、外出、買い物など残存機能を活かし自立した生活が送れるように支援した。

3. 施設内研修

統一したケアを目標に内部研修を実施した。グループホーム職員としての知識、技術を職員全員が学び資質の向上に努めた。新型コロナウイルス感染症予防についても県や市からの情報や通達を確認し対応しながら予防に努めた。あらゆる状況に迅速に対応出来るよう、関係機関との連携を図りご利用者の体調管理や急変時の適切な対応に努めた。

表38 令和2年度施設内外研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会内容	参加者
4月22日 〈倫理と法令遵守〉	・倫理、法令遵守について	6名
5月1日 〈感染症勉強会〉	・感染症及び食中毒発生及びまん延の防止と新型コロナウイルスの対応について	6名
6月10日	・看取りについて	6名

〈看取り勉強会〉		
7月 5日 〈接遇勉強会〉	・ 接遇とマナーについて	6名
8月20日 〈身体拘束勉強会〉	・ 身体拘束等の取り組みに関する研修	7名
9月20日 〈災害時の対応について〉	・ 災害時の対応について	7名
10月20日 〈認知症について〉	・ 認知症への理解について	6名
11月20日 〈災害訓練〉	・ 防災訓練：自然災害時の対応について（救出、避難場所への誘導）	6名
12月 9日 〈虐待防止勉強会〉	・ プライバシー保護と高齢者虐待防止について	6名
1月19日 〈緊急時の対応について〉	・ 緊急時の対応（ハイムリック法：背部叩打法の実技指導）	6名
2月14日 〈身体拘束勉強会〉	・ 身体拘束等の取り組みに関する研修	6名
3月31日 〈避難訓練〉	・ 避難訓練（昼間想定）の対応	7名

VII 居宅介護支援事業所きじの里の経営

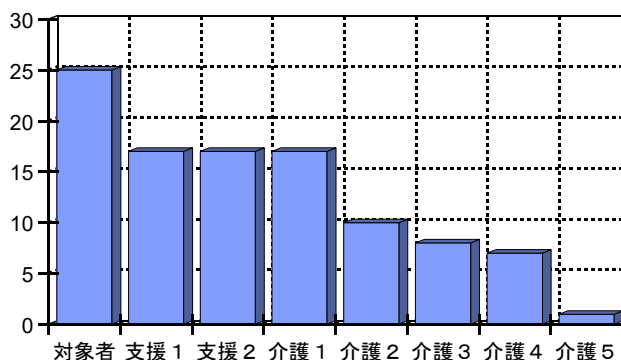
1. 要介護度別利用状況

要介護認定者、総合支援事業による認定者を含め全体の登録者数は前年と替わらず。入所、死亡、転出、移管による減少がある。一方で更新や区分変更にて要支援から要介護へ介護度が高くなった利用者が例年より多く、新規利用者もあり要介護者数が前年より増え、全体での要介護者の割合が昨年の26%から42%になった。新規利用者は、医療機関からの紹介が多く、長期入院の受け入れが困難で早期退院を促され短期入所利用により利用開始となる方もおられるが、介護度が高いため比較的早く施設入所され、短期間で相談支援を終了する方もいる。包括支援センターよりの新規受託も数件ではあるが続いている。年齢で見ると約6割の利用者様が85歳を超えている。

表39 利用者の要介護度別登録者

	男	女	合計
事業対象者	5	20	25
要支援1	2	15	17
要支援2	6	11	17
要介護1	5	12	17
要介護2	2	8	10
要介護3	2	6	8
要介護4	2	5	7
要介護5	0	1	1
合計	24	78	102

図3 介護度別登録者数

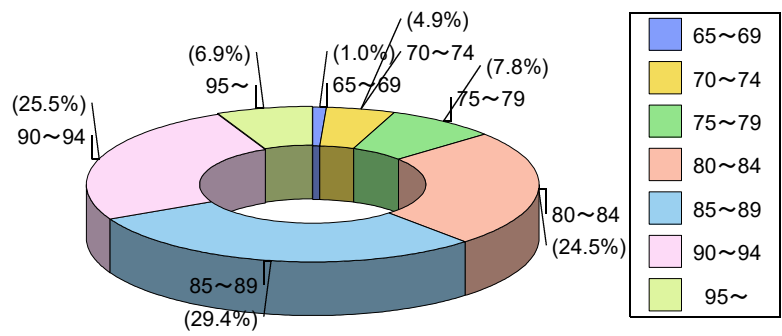


※表39、図3には予防プラン受託者・事業対象者数を含む

表 4 0 年齢別利用者数

区 分	男	女	計
65～69	0	1	1
70～74	3	2	5
75～79	3	5	8
80～84	5	25	25
85～89	5	30	30
90～94	8	18	26
95～	0	7	7
合 計	24	88	102

図 4 年齢別分布



2. 給付管理表の提出状況

要介護者の登録者数は増加し、給付管理票の提出状況は前年より増加となっている。逝去による利用者が5名、入所が5名おられ、転出1名、長期入院2名、サービス利用なし4名、要介護から要支援になった方が2名いた。新規利用者としては、健康状態の悪化や転倒骨折により要支援状態から要介護になった利用者の方が6名、退院による短期入所サービス利用、在宅サービス利用により受託する方が5名、新規申請にて要介護となった方も数名もおられた。結果、給付管理件数の増加につながっている。しかし、利用者の中にはサービスの利用を中止されたり、長期入院中である利用者の方、サービスの利用につながらない利用者の方も数名程おられる。

表 4 1 給付管理表の提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26年	23	23	25	26	24	27	29	33	25	26	25	29	315
H27年	28	31	29	30	30	29	30	31	28	27	27	29	349
H28年	28	30	31	31	29	27	27	30	31	32	33	31	360
H29年	28	27	27	30	32	34	31	27	32	33	33	39	373
H30年	37	32	31	33	32	29	24	24	30	25	29	27	353
R元年	31	34	32	32	29	31	30	33	32	33	32	36	385
R2年	37	37	41	37	34	39	42	42	41	40	42	40	472

3. 予防給付プラン・総合支援事業プラン作成件数

利用者が減少の状況ではあるが、総合事業から予防へ移行は少なく、状態の変化や転倒骨折等の原因により予防給付・総合事業から介護給付へ移行が多かった。状態の改善により要支援と要介護を行き来される事例も少なからずみられている。

表 4 2 予防プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年	44	43	44	46	46	50	43	40	40	34	31	28	489
H28年	26	24	22	17	14	13	11	11	12	13	12	14	189
H29年	12	15	15	13	14	11	11	12	14	13	14	13	157
H30年	13	16	14	14	14	15	16	17	15	15	15	15	179
R元年	14	13	14	14	14	14	12	13	14	13	14	13	162
R2年	14	14	14	13	14	18	16	16	15	12	12	12	170

表 4 3 総合支援事業プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年							5	8	10	15	23	30	91
H28年	42	48	50	54	54	55	55	55	60	56	55	56	640

H29年	63	59	58	56	56	58	58	58	57	58	60	59	700
H30年	58	56	56	58	58	55	58	57	56	54	53	54	673
R元年	57	55	50	51	49	50	49	43	45	42	40	37	568
R元年	36	36	37	38	37	34	38	38	38	36	38	40	446

Ⅷ 五島市在宅介護支援センターきじの里の経営

1. 事業実績累計

表4-4に相談件数を示す。

表4-4 相談受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
来所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3

2. 実態把握件数

岐宿町の配食サービスに関しては判定が厳しいとの声も聞かれていた。前年24件に対して22件の実績であった。新規配食の依頼は8件あるが開始後に施設入所1件、状況回復や必要性が無くなり中止7件となっている。例年6月、12月を配食サービスの利用状況確認月として調査しているが利用を継続されているのはそれぞれ9件程となっている。

利用の傾向として独居の男性や女性は身体能力の低下により利用を開始されている。

土地柄からか高齢でも野菜などを作り食材を工夫しながら調理を行っている人が多く、配食サービスに頼る人が少ない傾向であるため町内の利用者が伸びていないと思われる。

表4-5 実態把握件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
配食	1	0	9	0	2	0	1	2	9	0	2	0	26
計	1	0	9	0	2	0	1	2	9	0	2	0	26

Ⅸ 介護報酬の状況

表4-6に令和2年度における特別養護老人ホーム（入所事業・短期入所事業・ヘルパ-事業・居宅介護支援）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、認知症対応型共同生活介護事業の収入状況を示す。

特養全体の収入は292,698千円で前年度（274,027千円）と比較して18,671千円の収入増となった。特養については、平均介護度が上がった事と入院日数が前年度より141日減った事、特定処遇改善加算の算定により9,154千円の収入増、短期入所では新規の長期利用者と予防ショートの利用日数が前年度より増えた事で8,623千円の収入増、居宅介護支援事業では、新規利用者と要介護者数が増えたことで757千円の収入増となった。デイサービスきじの里とデイサービス清風では、新型コロナウイルス感染症予防の利用制限を行ったため収入減となった。

表4-6 事業別収支状況（単位：千円）

	特別養護老人ホーム						デイサービスきじの里			在宅介護支援センター	グループホームきじの里	グループホーム清風	デイ清風
	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	訪問介護	居宅支	支援費	合計	地域密着・型	総合支援事業	合計				

			護	援			通所						
2年	244,144	35,144	4,853	8,557	0	292,698	15,935	14,880	30,815	368	36,374	36,569	13,978
1年	234,990	26,521	4,688	7,800	28	274,027	16,656	15,585	32,241	364	35,469	35,529	14,654
増減	9,154	8,623	165	757	△28	18,671	△721	△705	△1,426	4	905	1,040	△676

30年	235,422	30,563	4,597	7,728	0	278,310	13,112	15,684	28,796	385	34,787	33,115	14,741
29年	230,768	33,326	4,506	7,980	0	276,580	13,628	14,415	28,043	372	34,962	33,545	14,397
28年	229,039	33,072	4,484	7,887	0	274,482	28,622	2,201	30,823	355	33,374	32,975	16,777
27年	230,332	33,854	4,418	6,903	671	276,178	32,626	827	32,453	388	33,322	33,089	20,093
26年	230,363	34,407	4,323	6,102	203	275,398	32,475	1,933	34,408	446	33,263	33,668	16,225

X-1 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（きじの里）

1. 事故発生状況

表4-7に令和2年度中における事故発生件数を示す。令和元年度の119件に対して113件で、6件の減少となっている。主な事故は外傷36件（前年度37件）で全体の31.8%、滑落20件（前年度7件）17.6%、転倒は16件（前年度30件）14.1%となっている。骨折は2件（前年3件）、誤薬12件（前年度16件）となっている。

高齢者の皮膚は剥離しやすく、介助面、環境面から細心の注意をはらい起居や移乗毎の皮膚観察やスキンケア等を実施している。また圧迫によるものか、疾患によるものか、その都度看護職員による対応を行っている。骨折は2件（前年度3件）で1件介助中、もう1件は利用者自身によるものである。誤薬は12件（前年度16件）と減少。完全に間違えたものは3件であった。令和2年度は、意識改革と手順の徹底化を実施し11月以降は間違えて飲ませるといった誤薬は出ていない。

表4-7 事故報告件数（特養きじの里）

事故	月													合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
骨折	介助中													0	2
	自力							1	1					2	
	不明													0	
外傷	介助中	5	1	2	2	1	2	2	2	1	2	1	2	23	36
	自力							1		1	1		1	5	
	不明		1	1	2	1	1	1			1			8	
打撲	介助中										1		1	2	2
	自力													0	
	不明													0	
転倒	トイレ使用中							1	1			1		5	16
	居室		2	1				1	1					5	
	車椅子からの立ち上がり													0	
	廊下・ホール	1					2		1		2			6	
転落	椅子												1	1	8
	車椅子						1		1		1			3	
	ベッド		3						1					4	
滑落	椅子		7		1									8	20
	車椅子													0	
	ベッド		3	2	2	2	1	2						12	
経管バルーン抜去	介助中													0	0
	自力													0	
火傷	介助中													0	0
	自力													0	
異食誤嚥	食べられない物を口に入れた						1							1	1
	物をのどに詰まらせ					1	1		1	1	1		1	6	

誤薬	誤った薬を服薬				2			1							3	12
	服薬後落ちていた		1		1	2	1								5	
	飲ませ忘れ	1		1						1			1		4	
外出	敷地外まで外出															0
その他	車両破損、トラブル			2	1		1			3	1	1	1		10	10
合計		7	18	9	12	11	8	13	7	10	6	3	9	113	113	

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表48にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和2年度のヒヤリハット総計は256件（前年470件）で月平均21.2件であった。内訳は危険行動72件（前年度144件）、滑落54件（前年度102件）、転倒52件（前年度76件）であった。

ご利用者様の状態が昨年度より落ち着いてこられたこと、危険行動の利用者様が少なくなったり見守りの徹底及び見守り機器（眠りスキャン、らくミ〜マ）の活用が上げられる。

表48 ヒヤリハット報告件数（特養きじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる	4	2	3	2		1	2	6	3	2		3	28	52
	転倒したが外傷なし		1	2		4	5	2	2	2	1	2	3	24	
転落	転落しそうになる	2	1	2		3	2			1				11	17
	転落したが外傷なし		2			1	1			2				6	
滑落	滑落しそうになる	3	3		5	2	2	3	3		1	2	1	25	54
	滑落したが外傷なし	4	1	2	2	4	2	1	3	1	1	5	3	29	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した	5	14	6	4	2	6	2	8	8		2	5	62	72
	〃 立ち上がろうとした	1	2	4	2								1	10	
異食	害にならない物を口にし、はき出した								1		1		1	3	3
	〃 口にいれようとした													0	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた									1	1			2	2
外出	敷地内外出	1	1	4	1		1		1					9	9
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無					1						2		3	3
その他	ブレーキかけ忘れ	6	10	5		5	1	2	2	3	3	4	3	44	44
合計		26	36	28	16	22	21	12	26	21	10	17	20	256	256

きじの里事業実績報告書(案) P23 訂正分差替

X-2 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GHきじの里）

1. 事故発生状況

表49に令和2年度中における事故発生件数を示す。令和2年度は3件の事故が報告されている。ご利用者様の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、安全管理に対する考え方を再認識し業務にあたる事が必要である。また、事故を未然に防ぐ取り組みを強化し介護技術の向上を図るよう取り組んで行く。

表49 事故報告件数（GHきじの里）

事故	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介助中													0

骨折	自力													0	0
	不明													0	
外傷	介助中			1			1				1			3	3
	自力												0		
	不明												0		
打撲	介助中												1	0	
	自力												0		
	不明												0		
転倒	トイレ使用中												0	0	
	居室												0		
	車椅子からのた立ち上がり												0		
	廊下・ホール												0		
転落	椅子												0	0	
	車いす												0		
	ベッド												0		
誤薬	誤った薬を服薬												0	0	
経管バルーン 抜去	介助中												0	0	
	自力												0		
合 計		0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	3

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表50にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和2年度は36件のヒヤリ・ハット報告が提出された。主なヒヤリハットは転倒であった。

発生状況から時間帯や発生場所などを分析した結果、同じ時間帯や精神状態に変化がみられる状況での発生が多い。職員1人1人が事例を十分理解し、ご利用者様の精神面、環境の変化による行動の変化を十分把握し支援を行うことが重要である。

また、職員間の連携と情報の共有化を図り事故を未然に防止できるように取り組んで行く。

表50 ヒヤリハット報告件数（GHきじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる			1					1	1				3	12
	転倒したが外傷なし		2				1	1	1		3	1		9	
転落	転落しそうになる						1							1	5
	転落したが外傷なし							1				2	1	4	
滑落	滑落しそうになる													0	7
	滑落したが外傷なし			1	1	1				1	2		1	7	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した													0	0
	“ 立ち上がろうとした													0	
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	0
	“ 口にいれようとした													0	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
外出	敷地内外外出	1	1								3	2		7	7
その他	ブレーキかけ忘れ、その他		1		2							1	1	5	5
合 計		1	4	2	3	1	2	2	2	5	8	4	2	36	36

X-3 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GH清風）

1. 事故発生状況

表5-1に令和2年度中における事故発生件数を示す。2年度は8件の事故が報告されている。

主な事故は外傷が8件であった。今後は介助中の事故を減らすためにも、介護技術の向上を図り緊張感を持って業務にあたる事が必要である。また、ご利用者様の日頃の健康状態を把握し、事故を未然に防ぐ取り組みを強化するとともに、介護技術の向上に取り組む。

表5-1 事故報告件数（GH清風）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
骨折	介助中													
	自力													
	不明													
外傷	介助中													
	自力								1					1
	不明													
打撲	介助中													
	自力	1						1						2
	不明													
転倒	介助中													
	自力		1					1						2
	不明													
転落	椅子													
	真椅子													
	ベッド								1					1
誤薬	誤った薬を服薬													
誤嚥	物を喉に詰まらせた											1	1	1
経管バル ン抜去	介助中		1											1
	自力													
合 計		1	2					2	2				1	8

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表5-2にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和2年度は報告件数45件。危険行動が18件と最も多く、同じ利用者様の報告が目立っている。その中でも歩行困難者の方が室内で歩行されたケースが多く見られた。転倒事故に繋がる事も予測されるため、今後も心身の状態の変化に伴う利用者様の行動や、日頃の気づきを職員間で情報を共有し事故防止に繋げていくよう努めていきたい。

表5-2 ヒヤリハット報告状況（GH清風）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
転倒	転倒したが外傷なし			1										1
	転倒しそうになる		1			1		1			1			4
転落	転落しそうになる	1			1					1			1	4
	転落したが外傷なし													0
滑落	滑落しそうになる													0
	滑落したが外傷なし	1									2	1		4
危険	歩行困難者が歩行した		2	2	1	4		1		1		1		12
	〃立ち上がろうとした 膝折れ			1										1

行動	ベッド上での危険行動	1		1	1				1				4		
	外へ出ようとされていた		1										1	18	
異食	無害な物を口に入れ、吐き出した												0		
	“口にいれようとした												0	0	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた								1				1	1	
トラブル	利用者同士のトラブル	2	1		1								4	4	
その他	ブレーキかけ忘れ		1	1		2	1	1		1		2	9	9	
合 計		5	6	6	4	7	1	3	0	4	4	2	3	45	45

X I 生計困難者対策実施状況

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度における、令和2年度の減免実績（減免した延べ人数、施設が負担した額）を表53に示す。

本年度の施設サービスにおける減免対象者は延べ324人、減免額は4,332,172円であった。また、居宅サービスにおける減免対象者は延べ48人、減免額は398,680円であった。きじの里全体では、減免対象者は延べ372人、減免額は4,730,852円であった。

表53 利用料減免額（単位：円）

きじの里	のべ人数	1割負担分	食費	居住費	不明	負担額合計
施設サービス	324	621,962	1,017,476	2,692,734		4,332,172
居宅サービス	48	38,850	106,651	253,179		398,680
合 計	372	660,812	1,124,127	2,945,913	0	4,730,852

II 生計困難者レスキュー事業実施状況

平成28年8月から社会福祉法人の新たな地域貢献として「生計困難者レスキュー事業」が開始された。長崎県内の社会福祉法人が参加。資金を拠出して基金を創設し、生計困難者に対して生活保護費支給や給与支払いなどで生活の目処が付くまでの一定期間、食料品、日用品の現物支給、光熱費等の支払いを無償で行っている。

令和3年度「きじの里」では2件の支援を行った。支援結果は以下の通りである。社協0件、五島市社会福祉課保護班より2件の依頼があった。新型コロナによる就労形態の変化や失業等により需要がふえるとみこまれていたが、依頼が少なく五島市全体で2件であった。また、内1件は二次離島（奈留島）からの依頼であり、費用、時間面から現地民生委員に動いて頂く形をとり対応した。

表54 令和2年度レスキュー事業実施状況（単位：円）

	食料品	日用品	宿泊費	合 計	支援理由
事例1	8,401	0	0	8,401	生活保護受給決定までの支援
事例2	1,970	0	0	1,970	緊急小口貸付給付までの支援
合 計	10,371			10,371	